

人が輝き、新たな価値を生み出す 「やさしい未来都市 東広島」

第五次総合計画後期計画の重点テーマ

Well-Beingを実感できる 地域共生社会の実現

- 誰もが主役となる共に支える豊かな地域づくり
- 自助・共助・公助で支える災害に強いまちづくり
- 多様な主体による活力と安心のあるまちづくり

次世代学園都市の実現

- 人が集まり、世界に向けた挑戦が生まれる地方都市の実現
- 学園都市型カーボンニュートラルの実現
- 人と物の流れを促進する交通ネットワークの充実

多様な主体と地域資源を活かした 人口減少地域総合対策

- 生活価値創造のさらなる推進（生活デザイン・工学研究所「福富みらいベース」）
- 新たな人の流れの創出と地域の魅力向上
- 農業の生産性向上と観光の融合による豊かな農林水産業の実現

子どもの健やかな 成長のための環境づくり

- 子どもたちの第三の居場所、BBベースの充実
- コミュニティスクールの充実といきいきこどもクラブの質の向上
- 安心して子育てできる医療体制の充実

まちづくりを支える2つの基盤

人中心のまちづくりを進めるための
「人財」への投資

施策の根幹をなす
SDGsの理念と
DXの推進

2030年に向けた東広島市のまちづくり

第五次東広島市総合計画

未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市

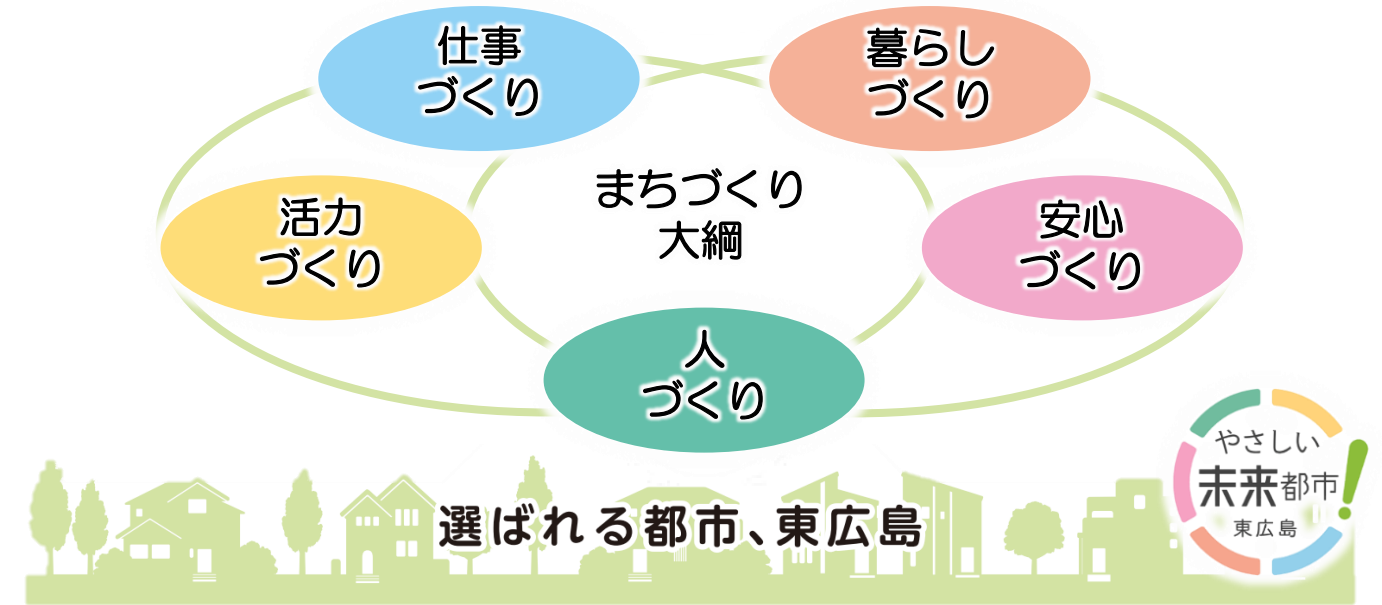
～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

目指す方向性①

世界に貢献する
イノベーション創造のまち

目指す方向性②

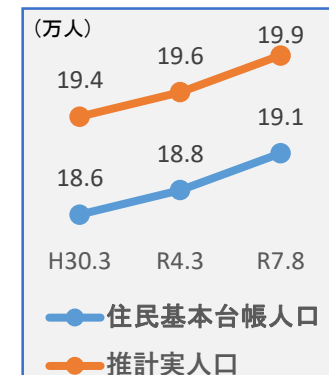
暮らし輝き笑顔あふれる
生活価値創造のまち



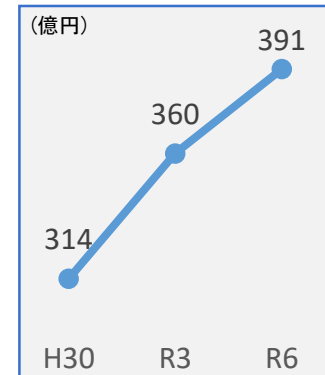
総合計画前期計画の成果(2020～2024)

成長する東広島市の状況

人口の推移



市税収入の推移



新たな企業立地・設備投資の状況

企業数：26社
新たな従業員数：約1,000名

全国的な調査における東広島市の評価

SDGs先進度調査（日本経済新聞社）

全国ランキング **27** 位
中四国ランキング **1** 位

シティブランド・ランキング ～住みよい街2025～（日経BP社）

中国・四国エリア **第1** 位

都市特性評価 （森記念財団 都市戦略研究所）

2025年 全国136都市中 **53** 位
（政令市:20 県庁所在市:31 人口17万人以上市:85）

市長 2 期 目 の 実 績

－ 6 つの重点施策の振り返り －

2 期目では、平成30年7月豪雨からの復旧復興や新型コロナウイルス感染症といった重大な課題に対応しながら、将来の都市像「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」の実現に向けて、5つのまちづくり大綱を基本としつつ、6つの重点施策を掲げまちづくりを推進してきました。

1 命と暮らしを守る体制の整備

- 東広島消防署高屋分署の整備
- 総合防災情報システム導入による災害対応力の強化
- 小児周産期医療、救急医療体制の充実（寄附講座の設置）
- 初期救急、小児科当番医空白日の解消



2 仕事と生活価値を創造する基盤づくり

- 国・県と連携した半導体産業大型投資（約2兆円）に対する後押しと工場等設備投資支援、企業誘致、留置の促進
- 新たな産業団地整備に着手（吉川、入野地区（広島県））
- 道の駅西条のん太の酒蔵開業（年間来場者90万人）
- 国道2号東広島バイパスの開通
- 「円陣」を契機とした女性活躍拠点の創出と新産業の創出
- 大学発「東広島こい地鶏」のブランド化、ジビエ加工所の支援による地産地消・観光振興

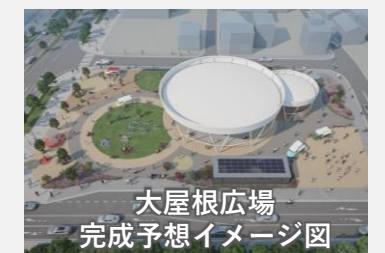


3 誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現

- 乳幼児医療費助成を高校卒業年齢まで拡大
- 県内初の「地域共生社会推進条例」を制定
- 保育人材の確保に向けた支援の拡充
- 「シアエル」関係の構築に向け、見守り活動・当事者支援体制を強化
- 外国人を含む地域共生社会の推進として、多文化共生コーディネーターの増員や日本語教室等を充実

4 多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり

- JR西高屋駅の橋上化、高屋情報ラウンジ「あったかや」を整備
- 「志和ホタル交通」「おまるめ山バス」など地域公共交通を導入
- 公道での自動運転・隊列走行BRTの実証運行の実施
- 八本松駅前土地区画整理事業に本格着手
- 「福富みらいの森」の整備、「福富みらいベース」の整備に着手
- 大屋根広場整備に着手
- 「東広島健幸ステーション」（広島国際大学）の設置により、市内3大学にTown & Gown officeの設置が完了



5 時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進

- 「西条独創教育」の理念を継承
- GIGAスクール構想を推進
- コミュニティスクールを導入（地域と学校の連携強化）
- 志和・河内地域での小中一貫教育の開始



6 持続可能な次世代環境都市の構築

- 県内初の「脱炭素先行地域」に選定
- 学園都市型カーボンニュートラルの構築に着手
- 県内初の「太陽光発電設備適正設置条例」を制定
- 持続可能な環境づくりに向け、先導的なプロジェクトを推進